

	主な意見
①全体	<p>●整備計画のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> 各エリアが①何を指し、②変えること・保つことは何か、③誰がどういつことをするのか、行政が規制や誘導をするが企業や市民はこうして欲しいなど、『5W1H』のような各エリアのまとめが少ない。 結局どのようなことを目指しているのか、箇条書きのように5～6個に要約したものと分かり易い。 企業や市民が活動し、経済活動やまちづくりからどう街を誘導していくかという発想にしないと、形態論や規制論ばかりになってしまう。 市民の方々の対話からは、やはり「市がどうするのか」という不満が大きいと感じる。 計画はある程度行政の意思でありできることとできないことがある中で、市としての「少しは無理をするところ」をどうするかがポイント。 開発があちらこちらで起こせるわけではないので、最小の開発から最大の効果を生むために今ある資源をどう最大限に活用するか、という視点が必要。そこから短期でアクションが起こせる場所とかモノとか、中長期的にこんなふうにしていけたらという時間を仕分けられたらよい。 <p>●地元への説明や意見への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見交換会での説明などで行き違いがあるようなので、地元の方への説明は慎重に調整しながらやって頂きたい。 「今までの議論や検討を踏まえて欲しい」というご意見を意見交換会で頂いているが、全局に跨って情報を収集すべき部分だと思う。行政として真摯に向き合うべき。 市の方と住民の方の意思疎通ができていないと思う部分があるので、市が「地元の方と個別に話し合っていきたい」というのは心強く、ありがたい。
②都市構造(将来像・空間像) (第3回テーマ)	<p>●エリアのイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> 提示された縮尺の資料だけで各エリアのイメージを全て語ろうとするのは困難。もう少し大きな縮尺(例えば1/2500)で中間の平面図があると、具体的な場所についてもっと意見し易いだろう。 この計画の核心はBエリアとCエリアをどうするか。色んなBエリアとCエリアがあり、ゾーニングも一括りではなくそれぞれ幾つかに細分化されるのではないか。 これまで何がどう誘導できて、できなかったのは何なのか、積み残したもや時代の変化などもあって、その延長にA～Eのエリアのイメージがあると思う。 <p>●A：大規模商業集積エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> 起点となる場所として、まちの顔となる象徴的な空間づくりが必要。デッキも流動のみで手一杯なので、待ち合わせや休息の場、まちを眺めるような場をうまく取り入れたい。 立地する大規模商業者の考えに依存してしまうが、Bエリアとの接続で流動を阻害しているように感じるので、その改善を重視して検討すべき。 デッキ下の地上レベルの環境がどうなっているのか。デッキ下が苛められていることが非常に多いので、デッキを再構成するときはそういう観点をしっかりチェックして頂きたい。 <p>●B：界隈性賑わいエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> 「都市構造の将来像」について、賑わいのエリアが当初よりも小さくなったと感じている。二核論などの過去の古い時代の計画が商店街のご年配の方々の意識に残っており、無視はできないだろうが、これをどうするか。 20年30年先の更新を考えると、本格的な再開発を行うところと、個別の建替えで更新していくところ、或いはメンテナンスで現状を維持するところが混在すると思われる。再開発の場合、ある程度用途が混ざり合ってくることを許容せざるを得ないのであれば、能動的な共存を目指したい。それを前提にどう受け止めるかを検討すべき。 <p>●C：多機能育成エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> 小田急町田駅北側や森野住宅の隣がCエリアと位置付けられているが、その辺りを今後具体的にどういうイメージで進めて行くのか、具体的な位置付けが必要。 都心居住的な住宅が最も立地し易いところとして、「ここで都心居住の醍醐味を味わえる」ということを実現できるような居住誘導をしていきたい。 駐車場配置について、本格的に行政が駐車場整備を誘導すべき場所なのかを吟味すべき。現在たまたま空いている場所を駐車場にしている人が多いのかもしれない。十分な道路基盤も必要。 <p>●賑わいを演出する通り</p> <ul style="list-style-type: none"> 原町田大通りは、イベント時以外は非常に殺風景。モルルール導入となったとしても15～20年は掛かるだろうから、それまでの間の利用について検討する必要がある。

	主な意見
<p>③回遊・交通環境 (第4回テーマ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 回遊性・動線の考え方 <ul style="list-style-type: none"> ・ AエリアのJRと小田急の乗換え空間について、多くの人々がただ移動するだけでなく、もう少し特徴付けする工夫をできると良い。 ・ Bエリアの原町田1丁目から4丁目に抜けられる動線に面白い工夫があれば、賑わいの中の回遊性を高めるという点で面白い。 ・ 原町田2、3丁目から6丁目の回遊性が大事。 ● 広場空間 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前空間について、移動空間の話だけだと滞留の話が置き去りになる。交通結節点としての一定の通過人数を踏まえた上で、滞留としての空間づくりを同時に考えていくことが大事。 ・ 歩行者天国だけでなく、バスターミナルなどの前にちょっとした広場空間があることでの重み付けなどを今後検討できると良い。 ・ 公園も賑わいの要になっていく所であり、既に溜まり空間になっている場所や可能性・ポテンシャルのあるところがあるはずなので、そこを丁寧に繋げていく作業が必要。 ● 駐車場・駐輪場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料で駐車場の配置について記載があるが、新たに駐車場整備を進めるというイメージを地元が持ってしまう。もう少し丁寧な説明を行うべき。 ・ 自転車について、歩行者天国を走行可能とする形がよいか、駐輪場をフリンジ形式にして街なかには良好な歩行者環境にするかという部分で、地元内でも議論がある。 ・ 現状で歩行者天国は午前11時から午後7時まで自転車も通行可となっている。自転車の扱いをクリアしない限り、安心して買い物ができるまちづくりは難しい。 ・ 資料中に自転車や車椅子、ベビーカーがなく、バリアフリーに対する配慮が欠けている点が見られる。 ・ 駐輪の問題は非常に大きい。都心居住を促進した場合は駅前に放置される可能性があるため、最初から戦略的に考えておかなければ。 ・ 車は排除するが、公共交通をストリートに入れて魅力を高めるようなことを諸外国では標準的に行っている。困難はあるかと思うが、発想を柔軟にして特にBエリアで視野に入れてもよいのでは。
<p>④拠点整備・規制誘導方策 (第5回テーマ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 拠点整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森野住宅東側などの行政境を「新たに期待される拠点」として整備していくには、相模原市との広域的な連携やアクセス向上がないと難しいだろう。 また、既にマンションが建ったりしており、机上の考えと実態との間にスピード感の違いが生じているように感じる。 ・ 相模原市と接続した部分で道路などの問題があるが、JR町田駅の裏側は町田の先端となる部分。計画の中できちんと吸引機能を持ったようなものを考えておかないと、次の時代を迎えるには少し弱い。 ・ 行政がやり易いところは位置付けを推し進めているが、民間が絡む難しそうところは手を縮めてやっているような印象がある。 ・ 駅前には町田のイメージにも大きく関係するエリアなので、文化芸術ホールを建設したりバスターミナルを集約・整備するなど、もっと強い位置付けにして欲しいという住民意見がある。 ・ 来街者にとって駅前にホールがあるべきなのか疑問。商業者のエゴではなく、来街者にとって駅から少し離れたところにホールがあっても良いのではないか。 ● 規制誘導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 形態とか土地利用の誘導というルールを強いられるようなイメージが強いが、本来はどういう流れをつくっていくか、一緒に流れをつくっていく上でどういう考え方がいいか、というのが誘導の本当の意味だと思う。 ・ 企業や市民が活動し、経済活動やまちづくりからどう街を誘導していくかという発想にしないと、形態論や規制論ばかりになってしまう。【再掲】 ・ 「規制」と「緩和」のバランスをどうコントロールするか、幾つかの軸でどう自由度を与え、どう規制をするかという視点を持って欲しい。 ・ 場合によっては法律や都市計画などの手法をとって半強制的にやるかという選択が必要になるが、半強制的な部分と自由な部分のメリハリは利かせるべき。 ・ 原町田2丁目は、昔は中心だったが今は寂れてしまって、1階から住宅のビルがすぐに建ってしまう。賑わいをつくるために「1,2階は店舗で」と地域で話しても個々で開発が進んでしまうので、ある程度規制できればと思う。